

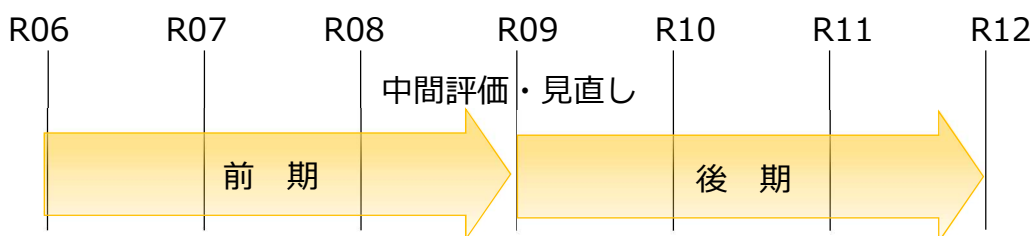
藤崎町国民健康保険第3期データヘルス計画の概要

1. 計画の趣旨

本計画は、「データヘルス計画の手引きの改定及び当該計画の標準化を進展させ、保険者共通の評価指標やアウトカムベースによる適正なK P I の設定の推進」により、保険者による保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定が求められていることから、地域の健康課題を踏まえつつ、効率的・効果的な保健事業を展開するために策定する計画です。

2. 計画期間

特定健康診査等実施計画や健康増進計画との整合性を踏まえ、計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間を対象とします。



3. 対象者

国民健康保険被保険者とします。

4. 対象疾病

脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症とします。

5. 計画の目的・目標

本計画の目的は、生活習慣病対策をはじめとする被保険者における健康の保持増進により、医療費の適正化及び保険者の財政基盤強化を図ることにあります。

国保データベース（K D B）システムの帳票により、地域の全体像の把握、国・県・同規模保険者との比較によって健診・医療・介護のデータからみる健康課題を把握し、直ちに取り組むべき短期的な健康課題と中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値を設定します。

	短期的目標	中長期的目標
成果目標	メタボリックシンドロームの減少	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少
	高血圧の改善	虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少
	糖尿病有病者の増加抑制	糖尿病性腎症の総医療費に占める割合の減少
	脂質異常症の減少	糖尿病性腎症の総医療費に占める割合の減少

(1) 中長期的な目標

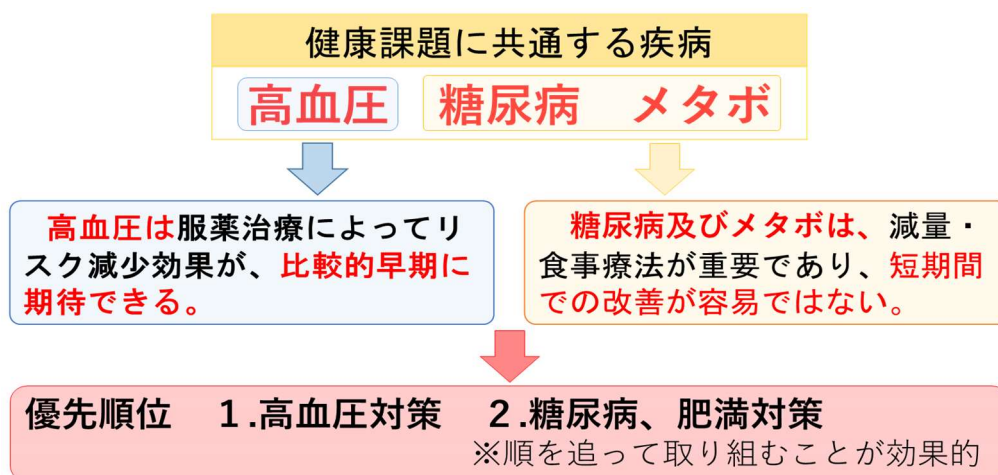
令和11年度には令和5年度（現状値：下図は、令和4年度の現状値です。）と比較して、総医療費に占める脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症における、それぞれの医療費の割合を減少させることを目標とします。

		同規模	県	国	藤崎町		
		R04	R04	R04	R04	R11	
総医療費		—	—	—	11億6,820万円	—	
中長期的目標疾患の医療費合計及び総医療費に占める割合		—	—	—	7,614万円	—	
		8.01%	7.42%	8.03%	6.52%	減少へ	
中長期的 目標疾患	脳	脳梗塞・脳出血	2.07%	2.35%	2.03%	2.74%	減少へ
	心	狭心症・心筋梗塞	1.38%	1.32%	1.45%	0.62%	減少へ
	腎	慢性腎不全(透析有)	4.23%	3.40%	4.26%	2.33%	減少へ
		慢性腎不全(透析無)	0.33%	0.34%	0.29%	0.83%	減少へ

(2) 短期的な目標

脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の発症を予防するため、高血圧・糖尿病・脂質異常症等・メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少を目標とします。

特に早世死亡予防、介護予防、医療費適正化に向け、服薬による降圧効果が早期に現れやすい高血圧対策を最優先としつつ、糖尿病対象者増加の抑制、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少を目標として重点的に活動していきます。



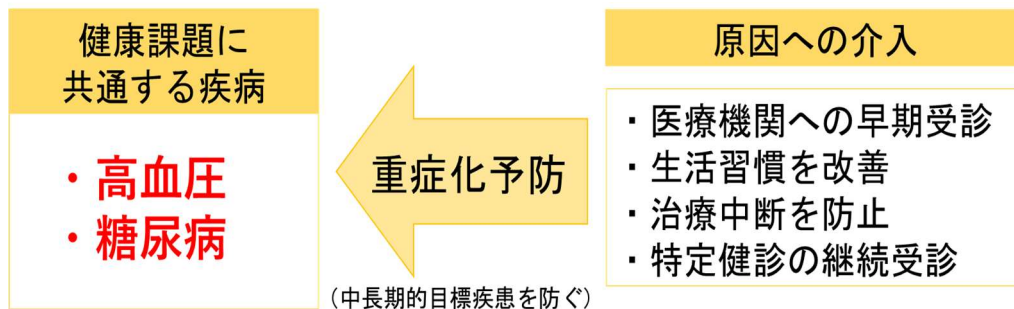
6. 保健事業の実施

具体的な課題別の保健事業実施計画については本誌第4章において、「方向性・対象者・介入方法・事業内容・連携機関・評価」等の具体的な取組内容を記載しています。

なお、保健事業については、福祉課健康係に所属する保健師・栄養士が行います。

重症化予防対象者を明確化し、地区担当保健師が家庭訪問等により、未治療者には医療受診の必要性を理解してもらうことで医療につなげる等、適切な保健指導を実施していきます。

さらに特定健診未受診者には、受診勧奨を実施することで、個々の実態把握に努めることとします。



7. 評価方法

国保データベース（KDB）システムの情報を活用し、疾病の発生状況や医療費・介護費の動向、特定保健指導実施率等を考慮し、各データの経年変化、国・県・同規模保険者との比較等を行います。

1期（6年）、前期終了後（3年）の大きなPDCAサイクルと年度毎（1年）の小さなPDCAサイクルを組み合わせることで評価を行い、前期終了後には中間評価を実施します。

ストラクチャー （保健事業実施のための体制・システムを整えているか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算等を含め、事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか ・ 保健指導実施のための専門職の配置 ・ KDBシステム活用環境の確保
プロセス （保健事業の実施過程）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健指導等の手順・教材はそろっているか ・ 必要なデータは入手できているか ・ スケジュールどおり行われているか
アウトプット （保健事業の実施量）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診率、特定保健指導実施率 ・ 計画した保健事業を実施したか ・ 保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム （成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定した目標に達することができたか （検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など）

8. 計画の見直し

計画の最終年度となる令和 11 年度において、計画に掲げた目的・目標の達成状況の評価を行い、次期計画に反映させていくこととします。

9. 計画の公表・周知

策定した計画は、ホームページで公表するとともに、広く周知します。